

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------|---------------|-------------------------------|------------------|---|--|---|-----------|-----|
| タノエ フジマサ 高添 藤政 | 男 | 1922 | 韮崎町 | 韮崎市 | 『伝えておきたい 語り草』 | 社会科学 文学 | 韮崎市教育委員。 韮崎市郷土研究会初代会長を つとめる。 (『伝えておきたい語り草』) | 『伝えておきたい語り草』(山梨ふる さと文庫、2001) 『武田勝頼と新府韮崎城』(山梨ふる さと文庫、2007) | 『伝えておきたい語り草』(奥付) | 2012/8/15 | 韮崎 |
| タノ ハチロウ 鷹野 八郎 | 男 | 1900 ? | 甲府市 | 甲府市 | 『鍛冶屋語録』 | 社会科学 技術 産業 | 1944年山梨県養豚組合設立、 初代会長となる。 1949年日本種類豚登録協会山 梨支部初代支部長に指名され、 山梨県豚の会長増殖に専念。 1955年山梨県畜産会が設立。 専任理事に就任。 1970年「黄綬褒章」を授与され る。 1971年山梨県家畜改良協会、 初代会長に選任。 1974年「勲五等瑞宝章」を授与 される。 1981年「紺綬褒章」を授与され る。 養豚を始め畜産の振興発展に 尽力するとともに、山梨県内の 農業および地方自治関係など の役員並びに各委員会の要職 を歴任し、広い分野で活躍し た。 | 『鍛冶屋語録』(1985年) | 『鍛冶屋語録』(鷹野八郎、1985 年) | 2014/9/28 | 甲府 |
| タノ マサナリ 高野 正誠 | 男 | 1852 1923 | 上岩崎村 | 甲州市 | 『わたしたちの勝 沼町』『ぶどうの 国文化館』 | 産業 | 園芸、醸造家。 大日本山梨葡萄酒会社から、 1877年10月フランス・トロワ市に 土屋竜憲とともに派遣された。 二人は帰国後、日本で最初の ワインを醸造。これを機に醸造 等を学ぶ人々が勝沼を訪れ、二 人の研究成果は日本のぶどう・ ワイン産業の伸展に大きく反映 された。 勝沼町のシンボルマークは、二 人のトロワ市での姿を採用して いる。 (『わたしたちの勝沼町』『ぶどう の国文化館歴史読本』) | 『葡萄三説』(秀英舎、1890) | 『わたしたちの勝沼町』(勝沼町 教育委員会、2002、p99~103) 『ぶどうの国文化館』(勝沼町、 1995、p49) 『えびかずら』(勝沼町文化協 会、1982、p242) 『勝沼町誌』(勝沼町、p754~ 758) 『山梨県ワイン百科』 http://www.pref.yamanashi.jp/w ine/ (2012.8.21確認) 『山梨のワイン発達史』(上野晴 朗、1977、p52~) | 2012/8/21 | 勝沼 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|------------------------------------|---------------|--|--|---|------------|-------|
| たかノ ヨシヒコ 高野 賢彦 | 男 | 1935 | 御坂町 | 笛吹市 | 『安芸・若狭武田一族』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 歴史・地理 文学 | 1935年、御坂町下黒駒生まれ。1958年、東北大学法学部卒業。1992年、筑波大学大学院修士課程修了。1958年、日本興業銀行入行。以後、中央信託銀行、興銀カードサービス、ゆりかもめ、阪神清和土地、東洋シャッターに勤務。(『甲州・武田一族衰亡史』『安芸・若狭武田一族』) | 『甲州・武田一族衰亡史』(新人物往来社、2003) 『甲州・武田家の人々』(高野賢彦、2005) 『安芸・若狭武田一族』(新人物往来社、2006) 『武田信玄その死因と卒去地を探る』(高野賢彦、2006) 『武田勝頼の外祖母 その生涯を探る』(「歴史読本」、新人物往来社、2008年8月号、p228～232) ほか | 『甲州・武田一族衰亡史』(人物往来社、2003、奥付) 『安芸・若狭武田一族』(奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、P235) | 2012/8/20 | 御坂 |
| たかむら くりゅう 高室 呉龍 | 男 | 1899 1983 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 文学 | 俳人。 本名、高室五郎。 「雲母」同人。飯田蛇笏に師事。1960年雲母賞、1971年山盧賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『惜春』(雲母社、1966) 『鳥影』(三雅房、1978) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p343) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p203～205) 『山梨の作家②』(山梨ふるさと文庫、1995、p227～237) | 2014/10/20 | 甲府 |
| たかヤマ カズユキ 高山 一行 | 男 | 1929 2003 | 身延町 | 身延町 | 『身延町誌』 「峡南の郷土」 | 歴史・地理 社会科学 | 身延南小学校清子分校、富沢町立万沢中学校などの教諭を勤める。 峡南郷土研究会理事。郷土研究に功績を残す。 (『身延町誌』「峡南の郷土」) | 『身延町誌』(身延町役場・1970、p1046～) 『身延参詣記拾遺』(高山一行編、1976) 「峡南地方の古記録に現われた『里程考』」(「峡南の郷土」第20集、峡南郷土研究会、1980、p49) 「身延町の樽ヶ沢考」(「峡南の郷土」第42集、峡南郷土研究会、2002年3月号) ほか | 『身延町誌』(p1258) 「峡南の郷土」第43号(峡南郷土研究会、2002、p43) | 2014/12/12 | 身延 |
| たけうち せいイチ 竹内 精一 | 男 | 1928 | 上九一色村 | 富士河口湖町 | 『上九一色村発 オウム2000日戦争 富士山麓の戦い』 | 社会科学 | 上九一色村富士ヶ嶺地区オウム真理教対策委員会元副委員長、元上九一色村議会議員。 (『上九一色村発 オウム2000日戦争 富士山麓の戦い』) | 『上九一色村発 オウム2000日戦争 富士山麓の戦い』(KKベストセラーズ、1995) | 『上九一色村発 オウム2000日戦争 富士山麓の戦い』(KKベストセラーズ、1995、奥付) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------------|----|-------------------|-----|---------------|------------------------------|-------------|--|--|---|------------|-----|
| タケウチ テルヨ 竹内 てるよ | 女 | 1904 2001 | 札幌市 | 北海道札幌市 | 『静かなる夜明け』 『大月人物伝』 | 文学 | 詩人、児童文学者。 本名、照代。 1929年処女出版詩集『叛く』を、 草野心平による謄写版で銅鑼 社より発行。 以後、詩集、随筆集、自伝的小 説、童話などを発表。 1954年に大月市猿橋町に移 住。 以後、療養生活を転々としなが ら詩作に励む。 新潟市にて死去。 (『静かなる夜明け 竹内てるよ 詩文集』、『大月人物伝』) | 『花とメノコと』(第二書房、1958) 『海のオルゴール』(家の光協会、 1977) 『わが子の頬に』(たま出版、2002) 『静かなる夜明け 竹内てるよ詩文 集』(月曜社、2003) 『美しき時』(オフィスエム、2008) ほか | 『静かなる夜明け 竹内てるよ 詩文集』(月曜社、2003、著者紹 介欄、顔写真あり) 『現代女性文学辞典』(東京堂 出版、1990、p198~200) 『山梨日日新聞』(2002.10.10、 22面) 『大月人物伝』(日本ステンレス 工業株式会社、2008、p183~ 186、顔写真あり) | 2014/11/18 | 大月 |
| タケウチ ユウタロウ 竹内 勇太郎 | 男 | 1919 1993 | 七里村 | 甲州市 | 『山梨県人物・人 材情報リスト 2013』 | 文学 | 劇作家、脚本家、小説家。 日本脚本家連盟、山文協所属。 日本放送作家協会会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』) | 『山本勘助 1~7巻』(学研、1985) 『甲府勤番帖』(光風社出版、1992) 『女侠まんだら』(東出版社、1977) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』(日外アソシエーツ、 2012、p343) 『山梨日日新聞』(2000.3.11、15 面、顔写真あり) | 2014/10/20 | 甲府 |
| タケダ チヨサブロウ 武田 千代三 郎 | 男 | 1867 1932 | 福岡県 | 福岡県 | 『山梨百科事典』 『明治四十年代 水害実記』 | 社会科学 | 山梨県知事。在任期間1905年9 月11日~1908年6月12日。 (『山梨百科事典』) 佛陀寺(石和町)に武田千代三 郎撰文の「大災害慰霊碑」が ある。 (『明治四十年代水害実記』) | 『明治四十年大水害実記』(丸山太 一・熊谷喜孝編、長田組土木、 2001) | 『山梨百科事典』(山梨日日新 聞社、1989、p589) 『山梨県政五十年誌』(山梨県、 1942、p418~419、巻頭口絵に 顔写真あり) 『山梨の百年』(佐藤森三ほか 著、NHKサービスセンター甲府 支所、1968、p228~229、顔写 真あり) 『山梨県人物・人材リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p37) | 2014/11/27 | 県立 |
| タケナカ エイトウ 竹中 英太郎 | 男 | 1906 1988 | 福岡県 | 福岡県 | 『山梨百科事典』 | 芸術・ス ポーツ | 画家。 「青少年」を中心に江戸川乱 歩、横溝正史、甲賀三郎、夢野 久作、大下宇陀児ら当時流行 の怪奇小説に挿画を描いた。 (『山梨百科事典』) | | 『夢を吐く絵師~竹内英太郎~』 (鈴木義昭著、弦書房、2007) 『山梨日日新聞』(2006.9.15、13 面、顔写真あり) | 2012/7/6 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|-----------------|--|--|---|------------|-----|
| タナカ ツム 竹中 労 | 男 | 1930 1991 | 東京都 | 東京都 | 『ルポライター事始』 | 社会科学 芸術・スポーツ | フリールポライター。 竹中英太郎の息子。 (『ルポライター事始』) | 『ルポライター事始』(筑摩書房、1999) 『芸能人別帳』(筑摩書房、2001) 『鞍馬天狗のおじさんは』(筑摩書房、1992) | 『ルポライター事始』(カバー) | 2012/8/10 | 甲府 |
| タサイ オサム 太宰 治 | 男 | 1909 1948 | 青森県 | 青森県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨百科事典』 | 文学 | 小説家。 本名、津島修治。 井伏鱒二に師事。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) 1938年3～9月にかけて御坂峠の天下茶屋に滞在。 1939年、『富嶽百景』を発表。 1941年、甲府市の石原美和子と結婚し、御崎町(美咲1丁目付近)に居住。 (『山梨百科事典』) | 『太宰治全集 全13巻』(筑摩書房、1999) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p588) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p344～345) | 2014/10/20 | 甲府 |
| タナカ ショウコ 田中 昭子 | 女 | 1943 | 春日居町 | 笛吹市 | 『四方津 はるなつあきふゆ』 | 社会科学 文学 | 教員。 「たなかしょうこ」名義で絵本執筆。 山梨子どもの本研究会会員。 (『四方津 はるなつあきふゆ』) | 『くすのき』(近代文藝社、1995) 『四方津 春夏秋冬』(たなかしょうこ、2000) 『四方津 はるなつあきふゆ』(文芸社、2003) | 『山梨日日新聞』(2003.11.6、15面) | 2012/8/20 | 春日居 |
| タナカ シ 田中 泯 | 男 | 1945 | 東京都 | 東京都 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 芸術・スポーツ | 舞踊家。学生時代モダンバレエを学び1973年頃から独自の舞踊へ踏み出しソロ活動に入る。東京、パリはじめ内外に身体気象研究所を開設。 1997年甲斐市敷島に舞踊資源研究所を設立、2000年から舞踊団および農業組合法人・桃花源を主宰。 2002年山田洋次監督の時代劇「たそがれ清兵衛」で映画初出演し第26回日本アカデミー賞助演男優賞を受賞。俳優としても活躍。映画「隠し剣鬼の爪」、テレビ「龍馬伝」などにも出演。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『僕はずっと裸だった』(工作舎、2011) 『田中泯 海やまのあひだ』(工作舎、2007) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p253～254) 『メゾン・ド・ヒミコ』official Photo Book』(平間至撮影、角川書店、2005) 『田中泯 海やまのあひだ』(巻末にプロフィールあり) 『ウミヒコヤマヒコマイヒコ 田中泯ダンスロードインドネシア写真集』(デザインングジム、2007) 『田中泯公式サイト』 http://www.min-tanaka.com/ (2014.11.21確認) | 2014/11/21 | 敷島 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------------------|---------|--|----------------------------|---|------------|------|
| ﾀﾏﾊﾞ ｸﾆｵ 田辺 国男 | 男 | 1913 2005 | 塩山市 | 甲州市 | 『緑陰閑話』 | 社会科学 | 政治家 1936年(株)後楽園スタジアム創立 1944年田邊酒造(株)代表取締役就任 1958年衆院選初当選 1967年山梨県知事 1997年勲一等旭日大綬章授章 (『緑陰閑話』) | 『緑陰閑話』(田邊国男『緑陰閑話』刊行会、2001) | 『緑陰閑話』 | 2012/8/21 | 塩山 |
| ﾀﾏﾊﾞ ﾏﾞﾛ 田辺 七六 | 男 | 1879 1952 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 『田辺七六』 | 社会科学 | 1921年富士水電株式会社常務取締役就任 1924年衆議院議員当選 1939年日本軽金属創立 (『田辺七六』) | | 『田辺七六』(田辺七六翁頌徳碑建設委員会、1954) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p594) 『郷土史に輝く人々・集合編』(青少年のための山梨県民会議、1974、p389～) | 2012/8/21 | 塩山 |
| ﾀﾏﾊﾞ ｸﾏｷ 田辺 孝明 | 男 | 不詳 | 山梨県 | | 『戦場を駆けた私の青春』 | 文学 | 軍隊入隊 (『戦場を駆けた私の青春』) | 『戦場を駆けた私の青春』(1987) | | 2014/11/27 | 双葉 |
| ﾀﾏﾊﾞ ﾊﾞ 田辺 徳雄 | 男 | 1966 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | プロ野球コーチ(西武)。吉田高卒業後、1985年ドラフト2位で西武に入団。1989年打率3割を達成、ゴールデングラブ賞受賞。2000年、巨人に移籍し、シーズン終了後引退。2002年西武コーチ。その後、編成部プロ担当を経て、2010年7月二軍打撃コーチ就任。通算成績は1229試合出場、打率.268、87本塁打、442打点、60盗塁。ベストナイン2回、ゴールデングラブ賞2回。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2013、p583～584) 『山梨日日新聞』(2006.1.6、20面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|--------------------------------|---------|--|--|---|------------|-----|
| タナハ ハルミチ 田辺 治道 | 男 | 1878 1950 | 神金村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 政治家 1927年大阪府知事 1932年満州国参議 1939年逓信大臣 1941年内務大臣 (『山梨百科事典』) 大日本飛行協会会長 (『政治家人名事典』) | | 『政治家人名事典』(日外アソシエーツ、1990、p327) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p594) | 2012/8/21 | 塩山 |
| タナハ ユウエイ 田辺 有栄 | 男 | 1845 1911 | 下於曽村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 政治家、実業家 山梨の民権運動の指導者 1890年山梨県初の衆議院議員 殖産事業に貢献 (『山梨百科事典』) 1900年開業の山梨銀行頭取 (『郷土史にかがやく人々』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p595) | 2012/8/21 | 塩山 |
| タニグチ ユミコ 谷口 由美子 | 女 | 1949 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 文学 | 本名、玉田 由美子。翻訳家。 上智大学外国語学部英語学科卒業。在学中、米国セント・メアリ・カレッジに留学。卒業後、文部省に勤務する。 | 『大草原の小さな町』(ローラ インガルス ワイルダー 作、谷口由美子訳、岩波書店、2000) 『若草物語』(ウィリアム T アンダーソン文、谷口 由美子構成・訳、求竜堂、1992) 『秘密の花園 1』(バーネット、作谷口 由美子訳、藤田 香絵、講談社2013) | 『山梨県人物・人材リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p346) | 2014/10/1 | 甲府 |
| タハラ トシヒコ 田原 俊彦 | 男 | 1961 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 歌手・俳優。 甲府工業高校1年のときからジャニーズ事務所のレッスンに通い、上京後ドラマ「3年B組金八先生」(TBS系)でデビュー。1980年「哀愁でいと」で歌手デビュー。75万枚の大ヒットとなる。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) 2009年10月「やまなし大使」に就任。 (『山梨日日新聞』) | 『君だけマイラブ』(ワニブックス、1981) 『とびっきり危険(デンジャー)』(集英社、1986) 『職業＝田原俊彦』(ロングセラーズ、2009) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p499～500) 『山梨日日新聞』(2009.1.12～3.30 毎週月曜(全11回)連載「トシちゃんの足跡」に掲載) | 2014/10/20 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|--------------|---------------|---|-----------------|--|---|--|-----------|------|
| タマキエミ 玉木 えみ | 女 | 1990 | 上野原町 | 上野原市 | 『少女系きのご図鑑』(DU BOOKS) | 自然科学 文学 | 東京工芸大学芸術学部マンガ 学科卒業 | 『少女系きのご図鑑』(DU BOOKS、 2012) 『増殖・少女系きのご図鑑イラスト集 2』(DU BOOKS、2014) 『きのご文学ワンダーランド』(DU BOOKS、2013) | 『少女系きのご図鑑』(DU BOOKS) | 2014/12/1 | 上野原 |
| タムラ イゾウ 田村 恰与造 | 男 | 1854 1903 | 一宮町 (中尾村) | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物人 材情報リスト 2011』 | 歴史・地 理 | 軍人(陸軍参謀次長)。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新 聞、1989、p601) 『智謀の人 田村恰与造』(篠原 昌人著、光人社、1977) 『日露戦争陰の主役 田村恰与 造伝』(相沢邦衛著、山梨ふるさと 文庫、2004) 『山梨「人物」博物館』(丸山学 芸図書、1992、p152) 『山梨県人物人材情報リスト 2011』(日外アソシエーツ、 2010、P261) | 2012/8/20 | 一宮 |
| タニザワ ショウサク 丹沢 正作 | 男 | 1876 1926 | 上野村 | 市川三郷町 | 『山の先生・丹沢 正作』 『郷土史にかが やく人々』第10集 『山梨百科事典』 | 哲学・宗 教 文学 | 1898年、市川教会で洗礼を受け る。 1902年、東京専門学校(早稲田 大学)を卒業後帰郷。 1906年、平民学校を設立。 1907年、伝道師となり、静岡等 で布教する。 1918年、市川教会日曜学校長と なる。 「山の家」を設立、徳富蘆花など が訪れた。町内に「山の家」(復 元)と「山の先生の碑」がある。 (『山の先生・丹沢正作』、『郷土 史にかがやく人々』第10集) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新 聞社、1972、p604) 『郷土史にかがやく人々』第10 集(青少年のための県民会議、 1978、p95) 『山の先生・丹沢正作』(清水威 著、山梨ふるさと文庫、1985) 『遺徳顕影建立記念誌 山の先 生』(山の先生遺徳顕影会、 1978) 『甲斐路』30～33号(山梨郷土 研究会、1977～1978) 『晴耕雨読』(サンニチ印刷、 2008年6月号、p59～61) | 2009/1/20 | 市川三郷 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|---------|--|--|---|------------|------|
| チハ`チヨウサク 千葉 長作 | 男 | 1861 1935 | 大須成村 | 身延町 | 『日本人名大事典』 『山梨県剣道史』 | 芸術・スポーツ | 山岡鉄舟の道場にて7年学ぶ。1907年、矢吹中将と共に日本武道会を創立。1913年、千葉周作の武門を継ぐ。靖国神社の奉納試合を創始し、出場77回。(『日本人名大事典』) 中富町大塩生まれ。本名、地場長作。防弾チョッキの発明者。(『山梨県剣道史』) | 『日本武道教範』(博文堂、1908) 『武道教訓』(日高有倫堂、1911) 『国民剣道教範』(富田文陽堂、1916) 『武道教範』(『明治武道史 史料』収録、新人物往来社、1971) 『国民剣道教範』(『近代剣道名著大系』第3巻収録、堂朋社出版、1986) | 『日本人名大事典4』(平凡社、1979、p255) 『山梨県剣道史』(山梨県剣道連盟、1977、p71) 『山梨の剣道』(山梨県剣道連盟、2004、p71) 『西島の今昔』(深沢喜一、1970、p107) | 2014/12/12 | 身延 |
| ツカハラ ヨウウン 塚原 羊雲 | 男 | 1931 1994 | 竜王町 | 甲斐市 | 『古希の駅』 | 文学 | 山梨大学卒業。 山梨県公立中学校教諭。 旧竜王町南部公民館長、山梨県公民館連絡協議会副会長。(『古希の駅』) | 『青雲』(塚原羊雲、1989) 『校長366日』(近代文芸社、1992) 『もぐらのたわごと』(山梨新報社、1994) 『古希の駅』(塚原羊雲、2001) 『喜寿の坂』(塚原羊雲、2008) 『野良の道』(塚原羊雲、2012) | 『古希の駅』(塚原羊雲、2001、奥付) 『山梨日日新聞』(2012.4.25、18面) | 2014/11/27 | 竜王 |
| ツカハラ ヨシムラ 塚原 美村 | 男 | 1916 2009 | 高根町 | 北杜市 | 『山梨日日新聞縮刷版』 | 文学 | 元教員。 南アルプス市寺部在住。 中部文学、山人会、日本歴史学会、日本ペンクラブなどに所属(『山梨日日新聞縮刷版』) | 『行商人の生活』(雄山閣、1970) 『金印惑伝』(創樹社、1997) 『半俘虜』(甲陽書房、1989) 『金銀細工師の生活』(雄山閣、1973) 『未解放部落』(雄山閣、1967) | 『山梨日日新聞縮刷版』 (1996.12.22、8面、顔写真あり。 2009.2.6、22面、追悼記事) | 2012/8/21 | わかくさ |
| ツヅムラ ミヅキ 辻村 深月 | 女 | 1980 2013 | 石和町 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 作家。 2004年『冷たい校舎の時は止まる』が第31回メフィスト賞受賞。 2011年『ツナグ』が第32回吉川英治文学新人賞受賞。 2012年『鍵のない夢をみる』が第147回直木賞受賞。 (『山梨県人物・人材リスト2013』) | 『冷たい校舎の時は止まる』(講談社、2004) 『子どもたちは夜と遊ぶ』(講談社、2005) 『ぼくのメジャースプーン』(講談社、2006) 『スロウハイツの神様』(講談社、2007) 『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ』(講談社、2009) 『ツナグ』(新潮社、2010) 『鍵のない夢をみる』(文芸春秋、2012) ほか | 『山梨日日新聞』(2006.5.17、11面、顔写真あり、2009.1.8、11面、顔写真あり、2012.7.19、17面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p354) | 2014/11/27 | 県立 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------------|----|-------------------|-----------|---------------|--|-------|---|--|--|-----------|-----|
| ツチハシ リキ 土橋 里木 | 男 | 1905 1998 | 上九一色 村 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『東八メモリーズ こんな人がいた。』 | 社会科学 | 郷土研究者。 1977年第1回野口二郎賞受賞。 峡南郷土研究会会長、日本民俗学会名誉会員、山梨郷土研究会名誉会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『甲斐昔話集』(郷土研究社、1930) 『富士北麓昔話集』(山梨民俗の会、1957) 『甲斐伝説集』(山梨民俗の会、1953) 『わらべ唄研究ノート』(山梨ふるさと文庫、1987) 『山村夜譚』(近代文芸社、1993) 『桶屋の敗走譚』(『峡南郷土史集』1集、峡南郷土研究会、p6~9) 『芦川のカラサンについて』(『民俗手帖』1号、山梨民俗の会、p9~11) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p245) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p161~172) 『峡南の郷土』第39集(峡南郷土研究会、1999、p40~41) 『甲斐路』194号(山梨郷土研究会、1999、p61~62) 『山梨日日新聞』(1998.11.26、23面、顔写真あり、1998.12.1、9面、写真あり、1999.11.30、12面、) | 2012/7/30 | 県立 |
| ツチャ タツ川 土屋 竜憲 (リュウケン) | 男 | 1859 1940 | 下岩崎 | 甲州市 | 『わたしたちの勝沼町』 『ぶどうの国文化館』 | 産業 | 園芸、醸造家。 大日本山梨葡萄酒会社から、1877年10月フランス・トロワ市に高野正誠とともに派遣された。二人は帰国後、日本で最初のワインを醸造した。竜憲(助次郎)の作った葡萄酒貯蔵庫「竜憲セラー」は現在、国登録文化財。 勝沼町のシンボルマークは、二人のトロワ市での姿を採用している。 (『わたしたちの勝沼町』『ぶどうの国文化館』) | | 『わたしたちの勝沼町』(勝沼町教育委員会、2002、p99~103) 『ぶどうの国文化館』(勝沼町、1995、p49) 『えびかずら』(勝沼町文化協会、1982、p242) 『勝沼町誌』(勝沼町、p754~758) 『山梨県ワイン百科』 http://www.pref.yamanashi.jp/wine/ (2012.8.21確認) 『山梨のワイン発達史』(上野晴朗、1977、p52~、p106~) | 2012/8/21 | 勝沼 |
| ツチャ ヤスマロ 土屋 靖麿 | 男 | 1924 2009 | 玉穂町 | 中央市 | 『ふるさとたまほ』 『私の人生旅日記』 | 歴史・地理 | 1971年~1979年、玉穂村議会議員 (『玉穂町誌』) | 『ふるさとたまほ 地名篇附地図』(土屋靖麿、1992) 『ふる里 歳時記』(土屋靖麿、1999) 『アゼ道をゆく』(土屋靖麿、2004) 『私の人生旅日記』(土屋靖麿、2006) | 『ふるさとたまほ』 『私の人生旅日記』 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、p1317~1318) 『山梨日日新聞』(2000.4.7、17面) | 2012/7/25 | 玉穂 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|------------|---------------|----------------------------------|---------------|--|--|---|------------|-----|
| ツナワキ リュウミョウ 網脇 龍妙 | 男 | 1876 1970 | 福岡県 宗像郡 | 福岡県 宗像市 | 『山梨百科事典』 『身延町誌』 『我深く汝等を敬ふ』 | 哲学・宗教 社会科学 | 福岡県法性寺にて得度。 1906年、身延山参詣し、多くの ハンセン病患者に会う。同年10 月、日本初の民間ハンセン病療 養所「身延深敬園」を創立。 1951年、山梨県社会福祉協議 会の初代会長を務める。 65年に亘る活動に、皇室などか ら恩賞殊遇を受ける。 山梨県県政功労、文化功労者。 藍綬褒章、正5位勲3等瑞宝章 など褒章多数。 身延町最初の名誉町民。 (『山梨百科事典』『身延町誌』 『我深く汝等を敬ふ』) | 『網脇龍妙遺稿集』(網脇美智、 1976) 『我深く汝等を敬ふ 網脇龍妙自 伝』(網脇直美、2008) | 『身延町誌』(身延町誌編纂委 員会編、身延町役場、1970、 p1180) 『山梨県史 資料編16』(山梨 県、1998、p954~963) 『山梨百科事典』(山梨日日新 聞、1989、p626) 『もう一つのハンセン病史』(医 療文化社、2005) 『ハンセン病の療養所をつくった お坊さん』(ルック、2006) 『読売新聞』(2000.8.3、32面) 『山梨新報』(2000.11.17、8面) 『山梨日日新聞』(1999.4.4/23 面、2004.2.2、11面) 「日蓮宗ポータルサイト内、法華 経に支えられた人々」 http://www.nichiren.or.jp/ (2014.12.12確認) ほか | 2014/12/12 | 身延 |
| テヅカ コウ 手塚 豪 | 男 | 1905 2004 | 白根町 | 南アルプス市 | 『西郡史談』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 教員。 『白根町誌』(1969) 『増穂町誌』(1977) 編纂 1978年 勲四等瑞宝賞受賞。 (『西郡史談』) | 『中巨摩郡地名誌』(中巨摩郡文化 協会連絡協議会、1988) 『西郡史談』(手塚豪、1993) ほか | 『西郡史談』(手塚豪 1993) 『山梨日日新聞』(2004.11.29、 16面) | 2012/8/2 | 白根 |
| テヅカ トシオ 手塚 寿男 | 男 | 1917 | 大和村 | 甲州市 | 『近世甲斐の史的 研究』 | 歴史・地理 | 山梨郷土会常任理事 (『近世甲斐の史的 研究』) | 『近世甲斐の史的 研究』(山梨日日 新聞、1984) 『郷土史事典山梨県』(昌平社、 1978) 『大和村誌』(大和村役場、1996) ほか | 『近世甲斐の史的 研究』(奥付) 『郷土史事典山梨 県』(奥付) | 2012/8/21 | 大和 |
| テヅカ ノブオ 手塚 信夫 | 男 | 1940 | 大和村 | 甲州市 | 『中日恩讐の盟 友』 | 歴史・地理 | 新明和工業(株)取締役大阪事 業部長 大和村青年婦人友好訪中視察 団団長 (『中日恩讐の盟 友』) | 『中日恩讐の盟 友』(文芸社、2002) | 『中日恩讐の盟 友』(奥付) | 2012/8/21 | 大和 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----------|---------------|------------------------------------|-------------|---|--|---|------------|------|
| テラダ シゲオ 寺田 重雄 | 男 | 1901 1992 | 甲府市 | 甲府市 | 『甲州魚風土記』 『山梨日日新聞』 | 社会科学 文学 | 郷土研究者。 元山梨日日新聞社編集局長、 元山梨文芸会会長。 (『甲州魚風土記』) | 『甲州魚風土記』(芸文社、1980) 『甲斐の魚』(山梨県水産研究会、 1955) | 『甲州魚風土記』(奥付) 『山梨日日新聞』(1998.9.5、17 面、顔写真あり) | 2012/7/10 | 甲府 |
| デンガリュウ 田我流 | 男 | 1982 | 一宮町 | 笛吹市 | 「Mary joy Recordings」ホー ムページ | 芸術・ス ポーツ | 山梨を中心に全国的に活躍す るラッパー。2011年に公開され た富田克也監督の映画「サウ ダーズ」で主演を務めたことを きっかけに名前が広がり、2012 年4月に発表したアルバム「B級 映画のように2」でその評価を確 固たるものにする。 (「Mary joy Recordings」JHP) | CDアルバム B級映画のように2 (2012 Mary Joy Recordings) 作品集「JUST」(2008 桃源響 RECORDS) DVD B級TOUR -日本編- (2013 Mary Joy Recordings) | ページ http://www.maryjoy.net/artists/ stillichimiya.html (2014.11.20確 認) 朝日新聞 2013年4月6日 朝刊 オピニオン面・朝日新聞デジタ ル 新潮社 2013年1月31日刊 都築 響一著「ヒップホップの詩人た ち」 山梨日日新聞 2012年6月4日 朝刊「ときめきゾーン」 | 2014/11/20 | 一宮 |
| トヤマ セイエイ 遠山 正瑛 | 男 | 1906 2004 | 富士吉田 市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人 材情報リスト 2013』 | 産業 | 農学博士、鳥取大学名誉教授、 日本沙漠緑化実践協会会長。 京都帝大農学部卒。1979年以 来、度々中国西域・シルクロード を訪れ、砂地農法による緑化の 技術指導に尽力。1985年、沙漠 開発研究所を、1991年日本沙 漠化実践協会を設立。2003年、 マグサイサイ賞(平和・国際理 解部門)受賞。富士吉田市名誉 市民(1997年)。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』) | 『よみがえれ地球の緑』(佼成出版 社、1989) 『沙漠緑化に命をかけて』(TBSブリ タニカ、1992) | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』(日外アソシエーツ、 2013、p292～293) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| トガミ ヒロコ 戸上 寛子 | 女 | 1935 | 大和村 | 甲州市 | 『白いノスタルジ ア』 | 文学 | 日本詩人クラブ (『箱根慕情』) | 『白いノスタルジア』(VAN書房、 1979) 『箱根慕情』(朝日アートコミュニ ケーション、2002) 『美術画報』No.34(朝日アートコミュ ニケーション、2002) 『御所車』(VAN書房、1984) | 『白いノスタルジア』(奥付) 『箱根慕情』(奥付) 『美術画報』No.34(p234～243) | 2012/8/21 | 大和 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|-------|---|---|---|------------|-------|
| トカワ リイチ 外川 理一 | 男 | 1900 1989 | 小立村 | 富士河口湖町 | 『富士山麓近世 農民生活史』 「河口湖町広報 ふるさと」 | 歴史・地理 | 豊島師範(現東京学芸大)卒。 八王子尋常小学校教諭、会計 検査院判任官、小立村助役、県 古文書審査員、妙法寺文書調 査員、河口湖町文化財審議委 員、山梨郷土研究会会員。 (『富士山麓近世農民生活史』) | 『富士山麓近世農民生活史』(地人 社、1987) 『妙法寺史録抄』(じべた書房、 1982) 雑誌「富士を守る」、「二十一日会」 に論文多数 | 「河口湖町広報ふるさと」(1989 年6月号) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| トクナカ スミコ 徳永 寿美子 | 女 | 1888 1970 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 童話作家。 本名、前田ひさの。 1967年、勲五等瑞宝賞受賞。 1935年創刊の「児童文学」で活 躍。 (『山梨百科事典』) | 『おかあさんのおひざ』(三十書房、 1953) 『うさぎのたねまき』(むさし書房、 1950) 『うさぎのせんたくや』(金の星社、 1966) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新 聞社、1989、p662) 『山梨「人物」博物館』(丸山学 芸図書、1992、p173~174) 『開館十周年記念展 I やまな し・女性の文学』(山梨県立文学 館、1999、p18~20) 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』(日外アソシエーツ、 2012、p358) | 2014/10/20 | 甲府 |
| トバシ ジジユウ 土橋 治重 | 男 | 1909 1993 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人 材情報リスト 2004』 『山梨の作家 1』 | 文学 | 詩人、歴史作家。 1992年『根』で日本詩人クラブ賞 受賞。 1924年、旧制日川中学3年のと き、父親のいるサンフランシスコ に渡る。 1939年朝日新聞社入社。 1949年「日本未来派」に詩を発 表し詩人としてスタート。 1961年詩誌「風」を創刊。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』『山梨の作家1』) | 『甲斐路』(宝文館、1959) 『武田武士の系譜』(新人物往来 社、1972) 『武田信玄』(新人物往来社、1978) 『日本の愛の詩』(理論社、1979) 『甲陽軍艦』(矢立出版、1981) 『小説 武田信玄』(青樹社、1982) 『土橋治重詩全集』(土曜美術社出 版販売、1982) ほか | 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文 庫、1994、p135~141) 『山梨の文学』(山梨日日新聞 社、2001、p321~323) 『山梨県人物・人材情報リスト 2004』(日外アソシエーツ、 2003、p255) | 2009/1/31 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|------------------------------|------------|---|---------------------|---|-----------|------|
| トミカ ケイメイ 富岡 敬明 | 男 | 1822 1909 | 佐賀県 | 佐賀県 | 『郷土史にかがやく人々第11集』 『山梨百科事典』 | 社会科学 文学 | 山梨県権参事。 明治初年の県令土肥実匡、藤村紫朗を実質的に補佐。 日野春開拓により、北杜市長坂町に富岡の地名を残す。 山梨県の漢詩檀の嚆矢。 (『山梨百科事典』) | 『双松山房詩史』(富岡春雄、1899) | 『郷土史にかがやく人々 第11集』 (青少年のための山梨県民会議、1981、p27~50) 『小説 富岡敬明』(甲陽書房、1979) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p157~159) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p667) | 2013/1/30 | ながさか |